

月影

平成十八年九月一日（第十五号）

浄土宗西山禅林寺派

常林院

煩惱を

彼方に運ぶ

秋の風



秋の彼岸会法要

平成十八年九月二十四日（日）

午後一時 彼岸会法要

午後二時 お説教 高槻 浄圓寺住職

三輪真明

皆様お誘いあわせの上、ご参詣くださいませよう
すようお願い申し上げます。
塔婆回向ご希望の方は、お申し出ください。

法然上人八百回大遠忌お待ち受け法要

ほうねんしょうにんざぞう ぜんどうだいしざぞう

☆法然上人座像、善導大師座像の御修復

十月のお待ち受け法要に向けて、当寺の本堂に安置して
います法然上人座像と善導大師座像の二体を、洗い及
び彩色し直します。お顔や御身体にひびがあり、あわせ
て修復することになりました。



ぜんどうだいしざぞう
善導大師座像

ほうねんしょうにんざぞう
法然上人座像

○法然上人（一一三三〜一二二二年）

浄土宗の開祖。岡山県久米南町に生まれる。出家後、比叡山に登る。善導大師が著した「観経疏」に影響を受け、「念仏を称えれば誰でも救われる」と説き、京都東山の吉水で浄土宗を開いた。

○善導大師（六一三〜六八一年）

中国山東省に生まれる。「観経疏」を著し、散乱した状態の心の称名念仏を肯定し、大きい影響力を与えた。法然も善導から決定的影響を受けた一人で、「偏ひとへにに善導一師ぜんどういつしに依るよ」という言葉を残している。

☆お待ち受け法要日程（詳細）

十月十四日（土）

一時 受付

二時 お説教 兵庫県高砂市
薬仙寺住職 西田秀雄師

二時十五分 お説教 京都
専修寺住職 岸野亮哲師

二時半 大遠忌法要 永観堂禅林寺法事部
導師 常林院住職

三時 お説教 京都
帰命院住職 江口隆泰師

三時半 住職挨拶
総代挨拶

☆声明

二時半からの大遠忌法要は、声明で始まります。

声明とは仏教の儀式音楽音楽です。キリスト教に讃美歌があるように、仏教にも仏を讃嘆してお経に節がついた歌があります。荘厳された仏殿などにおいて、仏がそこに居ますがごとく仏を礼拝讃嘆し、自己を懺悔し、仏に心からの帰依の声を発する音楽です。

法要は、本尊の後ろ（後門）から、声明を発声しながら僧侶が本堂に入場して始まります。

あとがき

お盆はありがとうございました。おかげさまをもちまして無事に終えることができました。

また今月は彼岸会、そして来月はお待ち受け法要があり諸行事が続きますが、どうぞよろしくお願い致します。